

西宮JC応援団

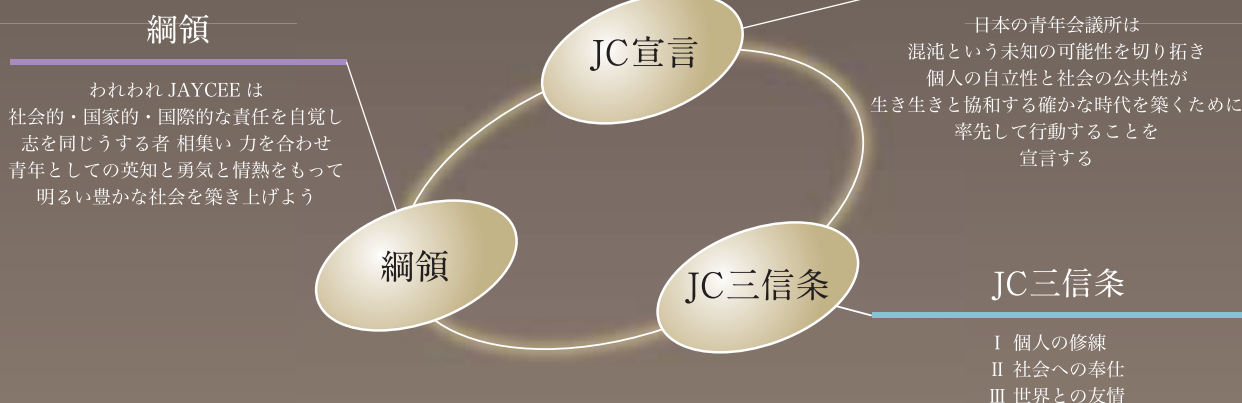
一般社団法人 西宮青年会議所について

青年会議所は、各地方自治体に組織があり、全国に約700組織、約3万8千人のメンバーが在籍しております。それを調整するのが公益社団法人日本青年会議所（日本JC）ですが、役員は全員各地青年会議所からの出向で成り立っています。その中でも、一般社団法人西宮青年会議所（西宮JC）は全国に先駆け5番目に設立（1950年6月3日設立）された組織なのです。

一般社団法人西宮青年会議所は、このJCの基本理念に従って、西宮のためにたくさんの事業を展開しております。

市民の方々と一緒になって、より良い街にしていく為の活動を主として行っています。これらの事業を会員が考え、実行することによりメンバー間の相互理解や、自分自身の修練の場が提供されます。西宮だけでなく、全国各地でこのような活動をしているメンバー同士のネットワークが生まれてくるのも大きなメリットです。そして、O.B（特別会員）に至っては西宮でも約400名を越え、各分野でアクティブに活躍されています。

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき
会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。
また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、
地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。



JC 運動の主体は常に「地域」です

各地青年会議所 LOM

(Local Organization Member の略称)

都市ごと、あるいは市部・町村が集まった形で組織され、すべての会員は LOM に所属する。

日本青年会議所 NOM

(National Organization Member の略称)

地区協議会
(全国10地区)
ブロック協議会
(全国47ブロック)

全国的レベルの運営について LOM と協働し総合調整にあたる。国家青年会議所として政策提言を行い、国際的には国を代表する。ブロック・地区・NOM はすべて LOM からの出向者によって構成される。

国際青年会議所 JCI

(Junior Chamber International の略称)

米国ミズーリ州セントルイスの小さな青年社会活動から生まれ、全米、そして世界へと広がっていった JC 運動の国際機関であり世界最大の青年団。日本は1951年に加盟。

全国のメンバーが、自らが暮らすそれぞれの地域から、国を考え、世界を見つめています。

明るい豊かな社会の実現を目指して!!

青年期の的確なトレーニングと 実践経験が優れた人材を育てます。

子どもたちの育成

未来を担う子どもたちの健全育成のために、各地ではさまざまな青少年事業を展開しています。学校・家庭・地域のかけはしとなるべく活動を行っています。

ボランティア

子どもや障害者、留学生たちと共に自然とのふれあいキャンプなどを開き、自然から受ける感動、人種を越えた交流のすばらしさを伝えていきます。また、阪神淡路大震災の際には多くの会員がボランティアとして活動、復興に協力しました。奉仕活動は JC の信条の一つでもあり、青年に与えられた責任であると考えます。

スポーツ振興

子どもから大人まで各地でいろいろなスポーツの大会を開催。スポーツが与えてくれる喜びを通じて、地域の人々の心と身体健康促進を図っています。

募金活動

JC では地球に住むすべての人々が幸福であるようにとの願いから、世界各地の発展途上国の教育・医療の設備資金や被災地復興のための資金として、4万人を超える会員が1日5円募金を実施しています。また、国内外での被災発生に対しても素早く義捐金募集を行い救済に協力しています。

活動紹介

地域特性を活かしたまちづくり

各地の JC では市民や行政の共感を得ながら、地域の特性を活かしたまちづくり運動を展開しています。自らが先頭に立ち、環境美化や地域の魅力再発見、伝統の復活など、自分たちの住む地域の活性化に若いエネルギーを燃やしています。

自己トレーニング

さまざまな活動においてリーダーシップを発揮できるように、JC では独自のプログラムを作成、常に実践的なトレーニングを行い、全会員の能力向上に努力しています。

世界の仲間との交流

国際人としての広い視野をもち、友情を築くことで世界の平和を達成したい。各地の JC では、世界各国の青年会議所と提携し、子どもたちを中心とした交換留学や交流キャンプ、さらには留学生の受け入れなどの事業を行い、国境を越えた友情の輪を広げています。

対話がつくるよりよい社会

JC ではよりよい社会づくりのために、LOM・ブロック・地区・全国単位でさまざまな会議を開催。まちづくりから行政改革、教育問題、環境問題にまで活発に議論しています。

西宮青年会議所はこんな活動をしています

にしのみや市民祭りへの参画



昭和 47 年夏、西宮青年会議所の 3 名の青年が「西宮市に祭りを」という熱き信念のもと市民祭りの開催を企画し、昭和 48 年 9 月に西宮神社を会場として第 1 回市民祭りが開催されました。後に市の協力も受けるようになり、40 年近くつづいた祭りとなりました。例年、実行委員長と事務局長を西宮青年会議所メンバーが担っています。

公開討論会



選挙（市町村長選挙、知事選挙、衆議院選挙、参議院選挙、各種議会選挙）時に候補者の政策やビジョンを表明していくものです。各候補者は、事前に提示された議題に従って自分の考えを述べ、お互いに質問や意見を述べていくもので、西宮青年会議所が進行を担っています。

淡路島縦断サイクリング



1つの目標を達成する為に親子で取り組み、それにより子供達には「生きる力」の一端を実感し自主性を養ってもらうことを考え、私達親である大人に対しては、目標に向かって邁進する子の姿に接する事により家庭教育について考える機会となるように考え青少年事業の一環として行いました。

ジュニアタウンミーティング



次代を担う中学生が自身の住む西宮の未来について考え、主体的に行動できる人間へと育てていく必要があり、まちづくりについて市民に広く周知すると共に、中学生のまちづくりに対する意識高揚を図る運動をしています。

国際交流



国際人としての広い視野をもち、友情を築くことで世界の平和を達成したい。各地の JC では、世界各国の青年会議所と提携し、子どもたちを中心とした交換留学や交流キャンプ、さらには留学生の受け入れなどの事業を行い、国境を越えた友情の輪を広げています。

わんぱく相撲の開催



わんぱく相撲全国大会は両国国技館で決勝が開かれる、小学4年生から6年生の男子を対象にした相撲大会のことです。地方大会からの参加者は約 40,000 人にもなるのです！そんな伝統あるわんぱく相撲の地区予選が西宮でも開催されました。

震災復興支援



災害の際は、西宮の各地にて募金活動を行います。
東日本大震災では、全国の青年会議所のネットワークを生かし、被災地へ支援物資配送を行いました。
また現地避難所で「関西縁日」的振る舞いで炊出しを行い、被災者からのからの「ありがとう」の言葉にこちらが元気づけられ、支援の大切さを実感しました。

例会風景



月に一度メンバー全員が参加する定例会を開催しています。例会はリーダーとしてのスキルアップや資質向上を主な目的として開催しており、メンバー間の交流を深める機会でもあります。